

# 小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 19

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	小山市中学生ケアンズ派遣事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	① 社会環境等の状況変化により、再検証が必要と思われる事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	1 みんなで協働 市民参加の行政づくり	<6> 担当部(局)
	中項目	1-2 心ふれあうコミュニティと国際交流	<7> 担当所属
	小項目	1-2-2 国際交流	<8> 担当係等
	施策	外国都市との交流の促進	
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業	中国紹興市派遣事業
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目
<13> 実施期間	15 年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	2 款 1 項 1 目
<15> 実施手法	一部委託	「その他」の場合 ( )	

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	2.検討を要する
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画) 施策への貢献度は大きいか?	1.大きい
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		1.向上の余地はある	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	2.検討を要する	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	民間への委託の範囲や、事業実施計画について検討の余地があるため、改善の余地ありとした。

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	公募により選考された市内学生を姉妹都市であるオーストラリア・ケアンズに派遣し、交流を図る。		
目的	<17> 事業・業務の目的	姉妹都市との交流を通して友好を深め、グローバル化する国際社会に対応できるように、学生の国際感覚を養うとともに、英語によるコミュニケーション力の強化、異文化に接することによる外国文化への興味・理解を促進する。	
	<18> 事業・業務の対象	国際交流に関心のある、市内中学校3年生及び義務教育学校9年生	

## 4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	訪問先であるオーストラリア・ケアンズの旅行先としての需要の高まりや、他自治体・団体での類似の事業の増加等により、航空券や、ホームステイ先の確保が困難になってきている現状がある。派遣人数を減らすことは困難であるため、今後事業を継続するにあたり、事前準備の前倒しや、ホームステイ先の確保をすべて旅行会社に委託することなどを検討していく必要がある。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 派遣される生徒は限られるが、継続して実施することにより、国際性豊かな人材の育成、多文化共生社会への意識の向上、さらには姉妹都市との交流促進などに資することから、継続することが妥当と考える。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 派遣生徒は異国の文化や生活習慣に触れることで、世界に視野を向ける良い機会となり、将来的に国際感覚を持った人材育成に貢献する事業である。ケアンズ市との友好関係の促進、小山市の国際化の推進にも必要な事業である。

手段	<19> 平成30年度の活動内容	市内学生28名及び引率教員4名の計32名をオーストラリア・ケアンズに派遣し、市役所への表敬訪問や学校訪問に加え、授業体験やホームステイを行い、現地の学生との交流を深めた。					
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度	
		派遣人数	人	計画	実績	計画	実績
成果	<21> 事業・業務の成果	現地での生活を通して、国際交流に積極的な姿勢を示す学生を増やす。					
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度	
		報告書で「今後も積極的に英語を学びたい」等の肯定的感想を持った生徒数	人	計画	実績	計画	実績

## 5 Plan - 計画 -

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度		投入率(%)	
			千円	計画	実績	計画	実績		
		事業費等	千円	5,000	5,000	5,300	4,418	83.4%	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
	一般財源	千円	5,000	4,986	5,300	4,418	83.4%		
	人件費	千円	3,598	3,598	3,573	3,573	100.0%		
	正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.5	7,195 × 0.5	7,146 × 0.5	7,146 × 0.5			
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			
<37> 実施計画	姉妹都市オーストラリア・ケアンズへ生徒を派遣し、ケアンズステイトハイスクールや現地の市民との交流を深める。また、令和2年度より、ホームステイ先の手配をすべて旅行会社に委託することを検討する。								
<38> 活動・成果目標	現地での生活を通して、国際交流に積極的な姿勢を示す学生を増やす。			<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度		
		千円	計画	計画	計画	計画			
	事業費等	千円	8,573	9,573					
	人件費	千円	5,000	6,000					
		千円	3,573	3,573					